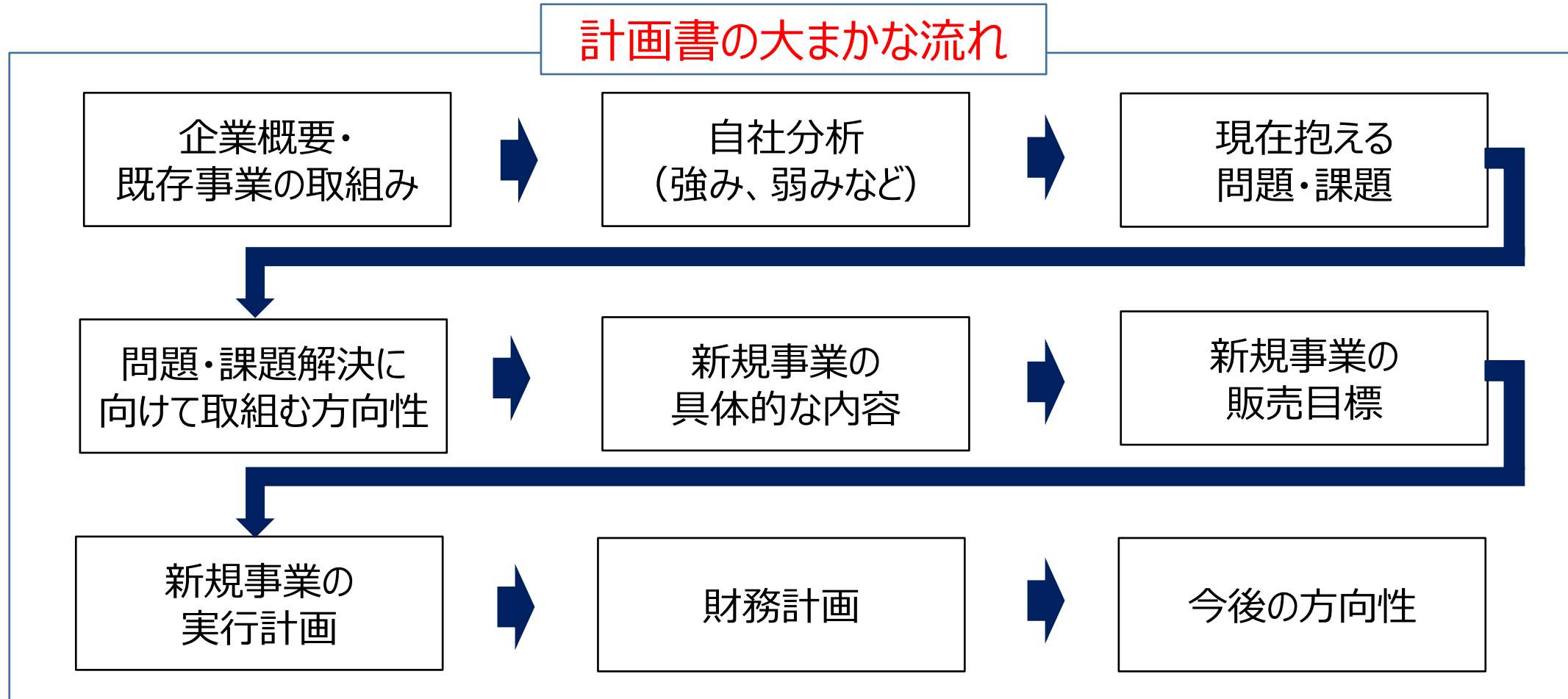


事業計画書の書き方

事業計画書の基本的な書き方

事業計画書は、自社の考えの整理に加え、関係各社に自社の取り組みを伝える**プレゼンテーション**



誰が読んでもわかるように具体的に、かつ明確に記載する

新製品・新技術開発における事業計画書の注意点

1 技術の説明で終わっていないか

- ・技術の優位性だけになっていないか
- ・顧客にとっての価値が説明されているか

2 顧客課題が具体的に示されているか

- ・誰の、どのような課題か明確か
- ・「あれば良い」ではなく「必要なもの」になっているか

3 実用化までの道筋が描けているか

- ・開発だけで終わっていないか
- ・販売、導入までの流れが示されているか

4 収益化のイメージがあるか

- ・どうやって売上につながるのか
- ・継続的な事業として成立するか

初めて計画書を読んだ人が理解できるか
→「自分がわかる」ではなく
「他人がわかる」表現にする

「技術の優位性」だけでなく、「事業として成立するか」も評価のポイント

新製品・新技術開発費助成計画書 書き方①

※端的に書くのではなく
ある程度の文章量で説明する

1.申請者について（抜粋）

現在の事業内容	←			<p>現在行っている事業内容を記載。 「誰に・何を・どのように」を具体的に記載する 例) ○○業界のメーカー向けに、△△部品の加工を行い、受注生産で販売している など</p>
現在の市場	得意先	←	仕入先	
(当区の特成金の交付実績)				
会社の現況 (課題等)	←	<p>現在会社がどんな状況であるかを記載。 市場環境の変化と自社の課題をセットで記載すると良い 例) 顧客からの要求が高度化しており、○○加工が求められているが、現状の体制では対応が難しい など</p>		
会社の現況（課題等）を踏まえ、今回申請の開発事業に至った経緯 (開発目的)	←	<p>上記の内容から、なぜ今回の開発をすることになったのかを記載する。 特に課題 → 解決手段（今回の開発）につなげて記載すると良い。 例) 上記課題を解決するため、○○技術を活用した新たな加工方法の開発に取り組む など</p>		

新製品・新技術開発費助成計画書 書き方②

※端的に書くのではなく
ある程度の文章量で説明する

開発予定期間	年 月 日 ~ 年 月 日
--------	---------------

令和8年度末の 開発の状態	試作品開発が完了・既製品の改良が完了、 量産体制の構築が完了 その他（
------------------	---

開発概要	
------	--

どんな新製品・新技術を開発しているのか、簡単にわかりやすく記載。
「誰の課題に対して、何を開発するのか」を一文で記載する
例) ○○業界の△△課題を解決するため、□□技術を活用した新製品を開発する。

開発製品の現状分析

開発製品の強み	開発製品の弱み
---------	---------

既存製品・技術の優位性について
「分かりやすく」記載

対応できていない点や注意点

開発製品における機会	開発製品における脅威
------------	------------

市場ニーズ・外部環境
どんな市場に展開できるか

競争・代替技術
開発するにあたって気を付けなければならないこと

開発完了時の開発製品イメージ (申請時点で想定している完了時の製品イメージを画像等にて記載すること)

開発後の状態を具体的に示す (図・写真・用途)。
例) ○○工程に導入し、△△の精度向上・コスト削減を実現する製品。
そして～

新製品・新技術開発費助成計画書 書き方③

※端的に書くのではなく
ある程度の文章量で説明する

3. 開発事業の技術的説明

(1) 原理・構造・機能(添付する図面等と関連させてわかりやすく記入)

例: ○○センサーで温度を検知し、△△制御により自動で出力を調整する仕組み。そして…

技術に詳しくない方でも分かるように具体的に記載すること。
図・画像を使い、「どう動くか」、「どういった商品か」が直感的に分かるように記載することが望ましい。

(2)-1新製品・新技術開発の特徴(新規性)

例: 従来は手作業で行っていた工程を、自動化する新たな加工技術を開発。加えて…

今回の開発内容は、自社の既存製品・技術と比べて、または市場と比べて、どういった点が新しいのか。
※世の中になく技術というより、「自社において」どう新しいのかを記載してください。

(2)-2新製品・新技術開発の特徴(優秀性)

例: 従来比で加工精度を20%向上、作業時間を30%短縮。さらに…

今回の開発内容は、どういった点が優れているのか。「どれだけ優れているか(数値・性能)」を示すと良い。

(2)-3新製品・新技術開発の特徴(市場性)

例: ○○業界(市場規模約○○億円)において需要が拡大しており、既存顧客からも導入ニーズがある。そして…

今回の開発内容について、どの程度の市場規模・需要があるのかを記載する。対象市場の大きさ、ニーズの強さ、今後の成長可能性を示すと良い。

※前回申請者は、(3)-1前回申請における、申請から実績報告までの開発の経過
(3)-2開発内容のうち、今年度申請において着手する部分

} について別途記載箇所があります。

新製品・新技術開発費助成計画書 書き方④

※端的に書くのではなく
ある程度の文章量で説明する

(3) 販売計画および販売方法

販売目標数		売上目標額	(万円)
上記目標の達成時期（見込）			
販売先（だれに）	例：自動車部品メーカー（既存取引先10社＋新規開拓先）		
販売方法（どのように）	例：既存営業ルートでの提案販売＋展示会での新規開拓		
市場投入時期（いつまでに）	例：開発完了後6ヶ月以内に販売開始、翌年度から本格展開		

販売目標数、目標額を記載。
技術提携等、個数表現ができない場合は、取引先の数、契約金額などを記載

具体的な顧客またはターゲットを明確にする

製品販売なのか、技術提供なのか、
どのように売上につなげるのかを記載する

いつ販売を開始し、
どのタイミングで売上を見込むかを記載する

(4)-1 知的財産権の調査状況

類似特許番号	
類似特許との相違点	

開発内容が他社の権利を侵害しないか、
事前に確認することが重要

(4)-2 知的財産権の出願予定

今回の研究開発の成果を知的財産権として出願予定か	※例：特許権を出願予定 など
市場投入時には取得できている見込みか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

必要に応じて、自社技術の保護や
将来的なリスク回避のため出願を検討する

新製品・新技術開発費助成計画書 書き方⑤

4. 開発の経過

年	月	日	研究開発の内容
26	8	1	〇〇の基礎設計・仕様検討
	9	30	
26	10	1	試作品開発
	12	31	
27	1	1	性能評価・改良
	2	28	

申請の開発事業にかかる最終的な開発完了までの研究開発の経過を時系列でご記入ください。その中で、今年度はどこまで着手予定であるかがわかるようにご記入ください。

各工程に具体的な作業内容と期間を記載するとより良いです。

NG：開発一式（期間：1年）などの曖昧な記載